

楽しく学べる阿倍野歴史・文化講座

～ 令和7年度大阪市「市民学習プログラム企画」助成事業～

文学で描かれる阿倍野

阿倍野にゆかりの作家には梶井基次郎、伊東静雄、小野十三郎、阪田寛夫、眉村 卓、朝井まかてなど多くあり、阿倍野が描かれている作品も豊富でその魅力について講演いただきます。

・講師：高橋 俊郎氏

(帝塚山派文学学会 副代表)

・日時：2026 年 1月17日(土) 14:00～16:00

開場 13:30

・場所：阿倍野市民学習センター 講堂

あべのベルタ3階

・参加費：無料 (阿倍野区民以外の方も参加できます)

・定員：100名(先着順・事前申込要)

・申込：右記のコードを読み取り、申込み下さい。



1953 年京都府生まれ。大阪市に図書館司書として入庁。大阪市立中央図書館副館長を経て、同志社女子大学等で講師。現在、帝塚山派文学学会副代表、オダサク倶楽部代表、大阪文学振興会事務局長。『大大阪イメージ』(創元社)、『織田作之助』(河出書房新社)、『織田作之助の大阪』(平凡社) など多くの著作がある。

・主催：あべの会

・後援：阿倍野区役所

・問合せ：あべの会事務局
abenokai2015@gmail.com